

[Daily 日本史] ~近世以降の産業史~

【問】 2003 年 学習院大学 経済

次の文章を読み、(1)～(15)の空欄および下線部について、下記の設問に答えなさい。

近世前期まで日本海側の航路は、越前国の敦賀⁽¹⁾に入港し陸路を琵琶湖まで行き大津に運送するか、
 (2) 国の小浜から陸路京都に運ばれた。船で大量に運ばれた荷物を馬⁽³⁾や荷車に積み直しても少量しか運送できないため、敦賀から琵琶湖まで運河を通すことが何度か計画された。1669(寛文9)・1695(元禄8)年には京都の商人たちが敦賀から琵琶湖の北岸塩津まで堀割りを通す計画を立てた。さらに1720(享保5)年には琵琶湖から (4) を経由して淀川から大坂に至る長大な計画について、幕府は実地の検分を治水技術の巧者井沢弥惣兵衛⁽⁵⁾に行なわせその可能性を検討した。その後も幕末期まで計画はくり返され、琵琶湖から木曾川について (6) 国桑名港に至る計画も立てられたが実現はされなかった。

17世紀後半の西廻り航路の整備によって、領主米を大量に大坂に運べるようになったほか、各地の特産品や蝦夷地の産物が大坂に輸送された。最上川中流域で生産・加工された (7) は最上川を下って (8) 港から日本海航路で上方市場にもたらされた。蝦夷地の産物⁽⁹⁾では、昆布などが上方にもたらされ、上方の料理には不可欠となった。また鯨粕⁽¹⁰⁾は肥料として大量に大坂市場に運ばれた。上方の商品もまた北陸から松前の地へと運ばれた。西に向かう船と東に向かう船が途中の港で出会って船積みすれば双方の輸送費は安くなる。新潟⁽¹¹⁾や富山⁽¹²⁾はそうした出会いの港になった。

19世紀に入り外国船の来航以後は、日本海にも緊張感が高まった。とくにロシア船が蝦夷地各地を攻撃した 1807(文化4)年⁽¹³⁾以降は日本海で軍事的に重要な場所となった佐渡や対馬⁽¹⁴⁾の警衛は重視された。佐渡の防衛のために高田藩・新発田藩などに出動態勢が命じられたほか、佐渡に数多くの (15) の設置が命じられた。

[設問]

- (1) 敦賀には松原客館が設けられ、727～919年の間に34回来日した使節が滞在した。どこの国の使節か国名を記入しなさい。
- (2) 空欄に入れるのに適当な国名を記入しなさい。
- (3) 中世から近世にかけて馬を用いた運送業者を何と呼ぶか記入しなさい。
- (4) 空欄に入れるのに適当な河川(最上流)名を記入しなさい。
- (5) 幕臣井沢弥惣兵衛は見沼代用水の開鑿などを行ったが、その治水技術を何流と呼ぶか、井沢弥惣兵衛が幕臣になる以前の出身藩を考えて記入しなさい。

- (6) 空欄に入れるのに適切な国名を記入しなさい。
- (7) 空欄に入れるのに適切な商品名を記入しなさい。
- (8) 空欄に入れるのに適切な港名を記入しなさい。
- (9) 1785(天明5)年俵物を長崎に運ばせ清への輸出品とさせる制度を始めた幕府老中は誰か, 人名を記入しなさい。
- (10) 鯨粕とともに魚肥として主に関東から上方に流通されたものは何か, 記入しなさい。
- (11) 1843(天保14)年, 幕府は抜荷の取締りのためにある藩から新潟を上知させ幕領として新潟奉行を置いた。何藩か, 藩名を記入しなさい。
- (12) 富山は薬の製造・販売でよく知られるが, 原料となる中国からの輸入薬種は大坂の問屋から荷送りされた他に, ある藩の抜荷船ももたらした。この藩は琉球を経由して薬種を入手した。藩名を記入しなさい。
- (13) ロシア船の攻撃の原因となったのは1804(文化元)年長崎に来航した使節への日本側の対応の非礼にもあったと見られる。ロシア使節の人名を記入しなさい。
- (14) 1861(文久元)年, ロシア軍艦は占領を企図して来泊し島民と衝突した。ロシア軍艦の名前を記入しなさい。
- (15) 空欄に入れるのに適切な防衛施設名を記入しなさい。

【解答】 **★★★★☆** **やや難しい問題**

- [設問] (1) 渤海 (2) 若狭 (3) 馬借 (4) 瀬田川
- (5) 紀州流 (6) 伊勢 (7) 紅花 (8) 酒田
- (9) 田沼意次 (10) 干鯛 (11) 長岡藩 (12) 摩藩
- (13) レザノフ (14) ポサドニック号 (15) 砲台(台場)